



Contents

- 1 2021年度入学式
- 2 2020年度学位記授与式
- 3 保健医療学部1期生登院式
- 4 「大学と地域連携の未来」シンポジウム
- 5 HT学部ワインプロジェクト
- 6 明海スポーツ

2021年度 入学式

明海生としてのキャンパスライフがスタート

2021年度入学式が、4月3日に浦安キャンパス、5日に坂戸キャンパスで行われた。例年であれば、全入学生が一堂に会して開催するところだが、新型コロナウイルス感染拡大防止策として今年度はそれぞれのキャンパスに分かれ、浦安キャンパスでは、

午前の部（外国語学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部、応用言語学研究科）と午後の部（経済学部、不動産学部、経済学研究科、不動産学研究科）に分かれて挙行された。例年より規模を縮小しての開催となったが、1,219人の新入生は期待に満ち溢れた表情で明海大学の学生としての新たな一歩を踏み出した。

安井利一学長は学長告示で教育の原点である建学の精神について触れた後、「大学は主体的な学びによって自分を変えようとする教育を行っています。自分でできる何かをこの大学生活で見出していただきたい」と新入生を激励した。続いて宮田淳理事長は「コロナ禍を逆手に取り、貴重な時間であるとポジティブにとらえ、それぞれのゴールに向けて新しい事柄にも挑



宣誓文を学長に手渡す新入生代表の池田さん

戦し、国際未来社会を牽引する存在になることを期待します」と述べた。これに対し、新入生を代表し、坂戸キャンパスでは塩田愛さん（歯学部）、また、浦安キャンパスでは午前の部代表の池田彩夏さん（ホスピタリティ・ツーリズム学部）と午後の部代表の山野井千晴さん（不動産学部）のそれぞれが「学識仁徳に優れ

た諸先生の下で人格形成に精進し、健全明朗な学風の樹立に進んで努力します。やがては本学が建学の精神として掲げる広く国際未来社会に活躍し得る有為な人材にならないことを希うものです」「目標に向かってより実り多き学生生活を送ることをここに誓います」と力強く宣誓した。

明海大学 建学の精神

『社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成をめざす』

社会性：常に変化する社会の中で自ら課題を見つけ、解決する能力

創造性：新たなモノや考え方を生み出し、前に進むようとする姿勢

合理性：情報社会の中での的確な判断基準を持ち、自分自身を確立する力

**2020年度
学位記授与式**

夢に向かって旅立つ

3月15日、2020年度学位記授与式が挙行され、703人の卒業生および修了生がそれぞれの夢に向かって旅立った。今回は新型コロナウイルス感染症対策として、密集を避けるため坂戸キャンパスと浦安キャンパスに分かれて行われた。

両キャンパスで、安井学長は「建学の精神はこれからの社会を乗り越えるための羅針盤になると信じています」と卒業生らを激励。また、宮田理事長は「本学の建学の精神を胸に、無限に広がる輝かしい未来で活躍されることを祈念しています」と述べた。

学生を代表して、坂戸キャンパスでは歯学部卒業生水野彩音さんが

「明海大学での臨床に根差した教育と指導を忘れず、今後は歯科医療を通して患者様の健康に寄与すべく、歯科医師としての覚悟と責任をもって日々努力を重ねていきます」と力強く決意を表明。また、浦安キャンパスでは経済学部卒業生松嶋克実さ



坂戸キャンパスにて宮田理事長、歯学部教員と卒業生ら。 ※撮影のためマスクを外しています

んが「明日からの人生の節目において、明海大学で学んだことの意義をかみしめ、一人ひとりが選んだそれぞれの道で自らの使命を果たします」と述べた。

2020年度は多くの授業がオンラインでの実施となったため、卒業生らはこの日久しぶりの再会を喜び合い、マスク越しの笑顔がはじけて晴れやかな門出の日となった。

**ホワイトコート
セレモニー開催**

歯科医師へのモチベーション向上へ

4月5日、坂戸キャンパスで、「ホワイトコートセレモニー」が開催された。このセレモニーは、5年次から開始される臨床実習に向けて、歯科

医師になるためのモチベーション向上を図ることを目的に、学生に白衣の授与を行うもの。当日は、申基詰歯学部部長・病院長からの訓示、中村睦



宮田理事長、中村歯学部同窓会長と5年生ら。 ※撮影のためマスクを外しています

夫歯学部同窓会長からの祝辞の後、学生はそれぞれの席に用意された白衣を受け取った。また、学生を代表して義原雅博さんが「臨床実習生と

して社会的責任を常に自覚し、医療に携わる一員としての知識・態度の修得を目指し、積極的に臨床実習に参加することを誓います」と宣誓した。白衣はこの日のために歯学部同窓会により製作・贈呈されたもので、左胸ポケットにはギリシャ神話に登場する名医アスクレーピオス（Aesculapius）が持つ杖と、国際未来社会で活躍する歯科医師をイメージした地球をモチーフとしたエンブレムが施されている。学生はネーム入りオーダーメイドの白衣を手にし、歯科医師になるための決意を新たにした様子だった。

第114回 歯科医師国家試験結果

2021年1月に実施された第114回歯科医師国家試験の合格者が厚生労働省から発表され、歯学部の新卒者80人が受験し69人が合格した。今回の合格率は86.3%で、これにより過去5年間の新卒者合格率は平均84.6%

となり、全17私立大学歯学部の中で第3位の実績を残している。

本学は、今後も歯科医師国家試験の合格に向けてきめ細かい指導を行うとともに、臨床に強く国際社会で活躍できる歯科医師を養成する。

新卒者合格率
(第110回～第114回平均値)
84.6%
全17私立大学歯学部の中で
第3位

保健医療学部 1 期生登院式

3月26日、保健医療学部口腔保健学科2021年度登院式が行われ、保健医療学部口腔保健学科1期生である3年生が参加した。登院式とは、客観的臨床能力試験(OSCE)を修了した学生が臨床臨地実習に臨むにあたり医療の道へ進む自覚を新たにする式典で、保健医療学部口腔保健学科では初めての開催となった。

初めに、登院許可された学生の名前が呼び上げられると、代表して加藤菜さんに藤内祝学部長からOSCE修了証を授与された。続いて、野村七

海さんから「私たち口腔保健学科1期生は、歯科衛生士となるため、臨床実習に臨む行動指針として、歯科衛生士の倫理綱領に謳われていることについて誓います」と力強い宣誓があった。藤内学部長からは「桜が満開の中、保健医療学部として初めての登院式を実施できることをうれしく思います。医療の道へ進むという自覚を胸に、新しいスタートを切ってください」とメッセージが送られた。また、金久弥生学科主任

からは「学科開設時に選んだユニフォームに袖を通して皆さんの姿を見ることができ、うれしく思います。これまで学んだ成果を活かし、患者様からの『ありがとう』に応えられる歯科衛生士になれるよう、がんばってください」と激励があった。



臨地実習に臨む口腔保健学科1期生。 ※撮影のためマスクを外しています

原野啓准教授がEmerald Literati Awards 2020を受賞

不動産学部の原野啓准教授がEmerald Literati Awards 2020を受賞し、エメラルド・ジャパン社より賞状が授与された。Emerald Literati Awardsは、イギリスで半世紀以上の歴史を持つEmerald Publishing Limitedが、学術研究に多大な貢献をした



エメラルド・ジャパン社より賞状を授与された原野啓准教授(左)。

※撮影のためマスクを外しています

著者、レビュアーを称えるために設立した賞で2020年で27回目を迎える。今回の原野准教授の受賞論文は、不動産市場全般における資産評価や投資、不動産管理と意思決定について幅広く考察を行ったもの。同社の国際的学術雑誌「Journal of Property Investment & Finance」に掲載され、2019年に出版された優れた論文に与えられるHighly Commented Paperに選ばれた。原野准教授からは今回の

受賞について「研究者としては、研究を行い、論文として仕上げて公表するまでが、仕事と考えています。こうした形で表彰していただけるとは考えてもいなかったため、驚きとともに大変光栄なことであると感謝しております。今回の研究成果が、実務の世界で広く活用されることを期待するとともに、今後もより一層研究に精進したいと考えております」と喜びの声が聞かれた。

受賞論文

Market transparency and international real estate investment

Taisuke Sadayuki, Kei Harano, Fukuju Yamazaki

Journal of Property Investment & Finance, Volume 37 Issue 5

2020年度就職率93.4% 中国語学科、HT学科は100%

2020年度卒業生の就職希望者に対する就職率が全体で93.4%となった。コロナ禍で企業の採用が縮小傾向にあると言われた厳しい状況で、多くの卒業生が希望進路を実現した。また、中国語学科、ホスピタリティ・ツーリズム学科は100%を達成。なお、ホスピタリティ・ツーリズム学科は7年連続の快挙となった。本学では、学生の就業意識を高めるために1年次からキャリア教育を行っており、学生たちを万全のサポート体制で支援しているため、その成果が表れたと言える。卒業生の今後の社会での活躍が期待される。

2020年度卒業生の主な就職先 (五十音順)

青山商事、アマゾンジャパン、イケア・ジャパン、浦安市役所、クリスチャン ディオール、埼玉県警察本部、佐川急便、JTB、島忠、スターツコーポレーション、ZOZO、千葉県教育委員会、千葉興業銀行、ちば東葛農業協同組合、千葉マツダ、東京都教育委員会、ドトールコーヒー、日本不動産研究所、明治安田生命保険、森ビルホスピタリティコーポレーション

大学と地域連携の
未来シンポジウム

コロナ禍における学校教育と地域連携の在り方

2月6日、教職課程センター・地域学校教育センター主催のシンポジウム「2021明海大学～大学と地域連携の未来～」が開催された。このシンポジウムは、本学の学生や教職員などが実施した小中高等学校に対する支援の実施状況について紹介するとともに、その成果と課題などについて、広く地域関係者・関係機関などとともに共通理解を図り、本学の今後の地域支援の在り方を探ることを目的としており、今回で5回目の開催となる。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、全編を通してZoomを利用したオンラインライブ配信となった。基調講演は、教育ジャーナリストの佐藤明彦氏から「コロナ禍で変わる学校教育のカタチ～熊本市『奇跡のオンライン授業』を振り返って～」、その後の分科会は「コロナ禍における学校教育と地域



オンラインライブの様子

連携の在り方」のテーマで「東京都立高等学校連携・日本語支援」「足立区教育連携・英語支援」および「浦安市・横手市教育連携」の3分科会。この1年、コロナ禍という緊急事態にありながら、学びと支援を止めることなく続けてきた集大成となった。

当日は、近藤やよい足立区長、鈴木忠吉浦安市教育長から来賓挨拶をい

ただき、東京都立高校、足立区、浦安市の関係者、生徒はじめ一般参加の方も含めて総勢240人を超える参加があり、盛況のうちに幕を閉じた。

今後、ウィズコロナの教育現場において、明海大学がどのように地域貢献を進めていくべきかの方向性をより明確に示すことができたシンポジウムとなった。

浦安市学生防犯委員会V5

浦安警察署長から感謝状

2月22日、浦安市学生防犯委員会V5に対し、浦安警察署長から感謝状が授与された。浦安市学生防犯委

員会V5とは、本学をはじめとする市内の3大学と高校4校で組織されており、自転車盗難を防止すること

を活動の中心として、防犯キャンペーンや啓蒙活動を行っている。今回は、浦安警察が行うJR京葉線新浦安駅前やシンボルロードの歩道での犯罪抑止活動、自転車盗難防止チェーンやチラシ配りなどに協力した功勞に対し感謝状が贈られた。

活動に参加し、感謝状を受け取った鈴木陸さん（英米語学科3年）は「V5の活動を通じて地域に貢献できたのではないかと思います。そして、今回感謝状をいただいたことは大変光栄で、さらに頑張って活動したいという気持ちになった。今後も積極的に活動を続けていきたい」と喜びと今後の意気込みを話した。



感謝状を手にする鈴木さん（中央左）。 ※撮影のためマスクを外しています

HT 学部
ワインプロジェクト

「めいかいわいん2020」が卒業記念品に

ホスピタリティ・ツーリズム学部（以下、HT学部）の学生有志が1年間かけて製造した今年のワインが完成し、3月15日に挙行された学

位記授与式後、卒業生に記念品として贈られた。2020年はコロナ禍で大学行事のほとんどが中止になってしまったことにより、学生組織の中

央委員会が企画し、卒業記念品として贈られた。

HT学部ワインプロジェクトは、2016年度から白百合醸造株式会社（山梨県甲州市勝沼町）の協力を得て毎年実施している。学生たちが春

から秋にかけてブドウを育てるところから商品のPR、ボトルのラベルデザイン、販売まで手がける。2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ほとんどの学生たちがブドウ畑を訪れることができなかったが、SNSなどを活用してメンバーと連絡を取り合いながら、ワインを完成させた。プロジェクトの営業を担当したセルバ・ソナムさん（HT学部4年）は、「色々な方との交流ができた。もっとこのプロジェクトを広めたい」と語った。



ワインプロジェクトに関わった卒業生。 ※撮影のためマスクを外しています

浦安キャンパス
One Dayセミナー開催

3月21日、浦安キャンパスで、外国語、経済、不動産、ホスピタリティ・ツーリズムおよび保健医療学部のOne Dayセミナーが開催された。新年度を前に高校生や保護者へ少しでも早く大学の最新情報を届けるため、さまざまなコロナウイルス感染防止対策を講じた上での実施となった。

One Dayセミナーは、少人数定員

制のため参加者と在学生・教員との距離が近く、コミュニケーションをしっかりとれることも魅力のひとつ。参加した高校生たちは、はじめは緊張した様子だったが体験授業やグループワークなどを通じて次第に打ち解け、楽しそうに会話する姿や、在学生や教員に積極的に質問する姿が見られた。

高校生からは「先輩から直接話を聞いてとても参考になった」「体験授業を受けて

勉強に対するモチベーションが上がった」などの感想が寄せられ、いずれの学部も満足度の高いセミナーとなった。



保健医療学部の個別相談ブース

浦安キャンパス

オープンキャンパス 10:00~15:30 要予約

外国語/経済/不動産/ホスピタリティ・ツーリズム/保健医療学部/大学院(応用言語学研究所・経済学研究所・不動産学研究所)

5月30日(日)、6月20日(日)、7月18日(日)、8月1日(日)、
8月22日(日)、9月26日(日)、10月24日(日)

※5月30日(日)および6月20日(日)は、歯学部の対策講座や入試相談を浦安キャンパスで開催します。

大学体験会 要予約

5月9日(日)、9月5日(日)、3月27日(日)

入試相談会 要予約

12月19日(日)、2月13日(日)

One Dayセミナー 要予約

外国語学部(日本語・英米語・中国語学科) : 不動産学部: 9月12日(日)
6月27日(日) HT学部: 6月13日(日)、9月12日(日)
経済学部: 5月16日(日)、6月27日(日) 保健医療学部: 12月19日(日)

お問い合わせ/企画広報課 TEL 047-355-1101

坂戸キャンパス 歯学部

オープンキャンパス
10:30~16:00 予約不要

7月18日(日)、8月22日(日)、
9月26日(日)、
10月9日(土)・10日(日)、
12月5日(日)

※10月は学園祭「けやき祭」同時開催
お問い合わせ/歯学部入試事務室
TEL 049-279-2852

各日程の特別プログラム等は本学公式HPをご覧ください。

<https://www.meikai.ac.jp>



※新型コロナウイルスの感染状況により、内容が変更となる可能性があります。

明海スポーツ

MEIKAI
SPORTS

新たな目標に向かって始動

体育会公式ホームページ <http://meikai-sports.jp>

コロナ禍で思うように活動ができなかった2020年。体育会は発足から15年目を迎え、新たな目標に向かって始動した各団体の監督・コーチに今年度の抱負を聞いた。

サッカー部

すべてはチームのために

For the Team

4月からの公式戦開幕に向けて、選手間の競争意識やポジション争いが激しくなっている。一人ひとりが献身的にプレーし、チームのために戦える選手も多くなってきているので、今年こそ目標である関東大学サッカーリーグへの昇格を実現できるよう、日々の練習に励んでいきたい。 監督 八津川義廣

空手道部

男女とも全日本優勝

部員一人ひとりが、今できることに意識を高く持ち、自主的に練習する環境ができている。また、主将を中心にチーム全体の雰囲気良く、目標達成に向けて日々、努力している。目標は男女とも全日本優勝！！空手道を通じて心・技・体を鍛え、社会に貢献できる学生を育てたい。 監督 上田航

ヨット部

負ける悔しさより勝つ喜びを

今年は4年生が10人在籍しており、実力、経験値的にも関東制覇を狙えるメンバーである。キャプテンを中心に「勝つこと」に対してのモチベーションが徐々に上がってきている。目標は、全日本インカレ総合優勝、春・秋関東女子インカレ完全制覇、そして全日本女子インカレ総合優勝をめざしたい。「負ける悔しさより勝つ喜びを」をモットーにチーム一丸となって頑張りたい。 監督 國府田由隆

陸上競技部

4年間で成果を出す

コロナ禍でなかなかまとまって活動ができなかったが、短距離、跳躍、投てきと、各パートがよく考え練習に取り組むようになり、昨シーズンより全員の成長が見え、部全体の雰囲気が良くなっている。1人でも多く関東学生陸上競技対校選手権大会で入賞、日本学生陸上競技対校選手権大会に出場をめざし、4年間で成果が出せるよう指導していく。 監督 川幡俊行

女子硬式庭球部

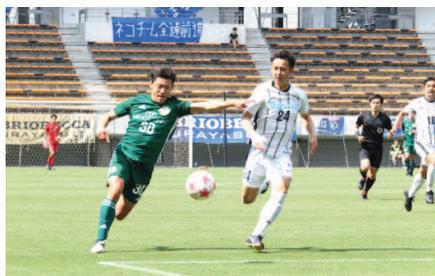
技術だけでなく人間的にも成長が必要

今年は、新入生が2人入部し、先輩、後輩の隔てなく明るい雰囲気チームとなってきている。週2日は男子部との合同練習を行い、技術面、体力面の成長を感じている。昨年度は公式戦が開催されず、悔しい1年となったが、今年こそは団体戦で関東学生リーグ4部昇格を目標に日々努力していきたい。 監督 小泉順一

女子バレーボール部

考えるバレーボール

創部から3年目を向かえ、活気のあるチームとなってきた。昨年度は、公式戦がすべて中止となってしまったが、今年こそ春リーグ(6部)優勝、秋リーグ(5部)優勝をめざしたい。また、東日本インカレでは、東日本の上位大学とも対戦できるため、選手たちのベストが出せるよう準備をしていく。また、チームとしては「考えるバレーボール」を目標に日々の練習に励み、そして社会に出てからも自立して活躍できる人材を育てたい。 監督 太田豊彦



サッカー部



ヨット部



女子硬式庭球部



空手道部



陸上競技部



女子バレーボール部